

4年間の学びのステップ LEARNING STEPS OF 4 YEARS

▶ カリキュラム ◎:必修 ●:選択必修

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎	応用	発展	
<p>大学での学修スキルと経済学の基礎を学び、専門的な国際経済学への準備を行う。</p> <p>大学での学びの基礎となる少人数ゼミ、経済学の入門についての必修2科目に加え、ミクロ、マクロ、海外事情、歴史、経済関係の英語などを選択して学びます。まちづくり、データ分析についての実践科目も配置しています。</p> <p>理論経済学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経済数学I ●マクロ経済学I ●ミクロ経済学I <p>国際経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ●世界と日本の経済 <p>統計学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎統計学 <p>演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎基礎演習I ◎経済学入門 <p>外国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経済英語I ●経済英語表現I Problem Solving Skills for Global IssuesI-II <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経済データ分析実習I まちづくり・ひとづくり実習 	<p>より実用的な研究・発表能力を身に付けて、国際経済に関するより広い視野で学ぶ。</p> <p>ミクロ、マクロの発展的内容に加えて、海外事情、諸外国の制度・政策、経済の英語などについて発展的内容を選択して学びます。基礎的な少人数ゼミも継続しながら、データ分析、金融・ファイナンスについての実践科目を配置します。</p> <p>理論経済学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経済思想史 ●計量経済学I ●労働経済学 ●国際経済学 ●環境経済学 <p>経済史</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アメリカ経済史 <p>経済政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経済政策I <p>国際経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ●世界経済論 ●東南アジア経済論 ●資源経済論 ●中東経済論 ●中国経済論 ●アメリカ経済論 <p>統計学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●統計学総論 <p>演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎演習II ●国際キャリア演習 ●外国語検定A ●外国語検定B <p>外国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経済英語II ●経済英語表現II ●韓国語会話 ●時事英語I ●時事中国語I <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マクロ経済学実習 ●経済情報処理実習 ●ミクロ経済学実習 ●経済英語実習 ●経済データ分析実習II ●金融・ファイナンス実習 	<p>専門的な研究を行い、国際経済の諸側面について理解を深めて、知識を深める。</p> <p>専門のゼミに分かれて本格的な専門性を身に付けます。世界のあらゆる地域を網羅した教員による海外事情および各国の歴史、制度、統計などについて専門的な科目を中心に、現実的な理解を深め、総まとめとして卒業論文の作成を行います。</p> <p>理論経済学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●法と経済学 <p>経済史</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本経済史 ●西洋経済史 <p>経済政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際農業経済論 <p>国際経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際経済開発論 ●発展途上国経済論 ●韓国経済論 ●比較経済制度論 ●海外直接投資論 ●ヨーロッパ経済論 <p>財政学・金融論</p> <ul style="list-style-type: none"> ●財政学 ●国際金融論 ●金融論 <p>社会政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会保障論 ●社会思想史 ●医療経済学 <p>演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎演習I ●キャリアのための資格 ●演習II ●卒業論文 <p>外国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経済英語III ●経済英語表現III ●時事英語II ●時事中国語II 	

※上記カリキュラムは2023年度入学者より適用予定。

教員紹介

アルバートL. デュラン 教授	英会話、時事英語教育に関する研究、キューバ政治経済の研究
岩本 武和 教授	国際経済学・国際金融論・国際マクロ経済学
河村 朗 教授	中東産油国の経済と資源経済の分析
立石 剛 教授	アメリカ経済と世界経済との連関、アメリカの国際経済政策
東 茂樹 教授	アジア経済論・地域経済統合の政治経済分析
三宅 伸治 教授	経済成長論
尹 春志 教授	地域経済統合の比較研究・国際投資協定と開発政策空間に関する研究
加藤 眞理子 准教授	インドにおける人口移動と所得分配の経済分析
亀井 慶太 准教授	国際貿易、貿易政策、寡占競争の理論的分析
志田 仁完 准教授	ソ連・ロシア経済、比較経済論、地域開発
石 鏡 講師	中国経済史・経営史、流通史、小売業研究

主なゼミテーマ

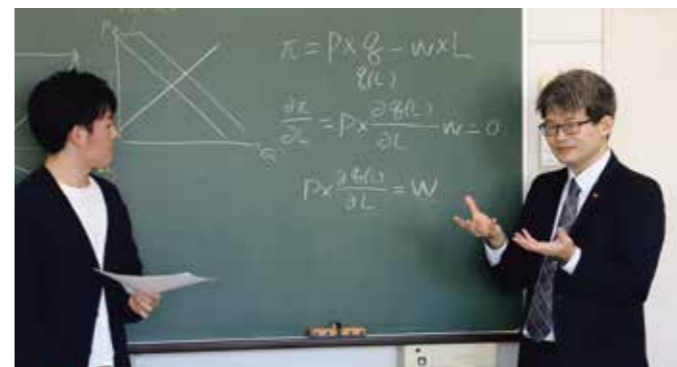
アジア経済と日本
経済発展、所得分配、貧困問題、ジェンダー問題、移住、送金
基礎的な国際マクロ経済学のモデルの習得と現実問題への応用
アメリカ経済およびその国際経済関係
ミクロ経済学をベースとした国際貿易論の習得。特に貿易自由化が各国の経済厚生・所得分配・失業率などに与える効果の論理的な分析

▶ 学科 PICK UP (ゼミの学び)

亀井 慶太 准教授

ゼミテーマ 国際貿易が各国経済に対して与える影響の理論的・実証的分析

本ゼミでは、グローバル化を「国際間の経済的結びつきが深化していること」と狭く定義し、学びを深めます。特に国際貿易、移民、直接投資(多国籍企業)が各国の経済に与える影響を研究し、複雑な経済現象を論理的に説明できる力を養います。また経済学に基づいた理論的かつ実証的分析をグループで行い、教員も交えてディスカッションします。論理的な分析能力を備えることは、変化し続ける社会を見通す力につながります。



ZOOM IN カリキュラム

世界経済論

古典的な貿易論、開発経済学の知見と政策思想の変化、最新の国際分業の分析枠組み、そして国際通商制度の過去と現状についても学びながら、世界経済の構造を主に生産・貿易・投資の面から理解し、今後を展望する視座を身に付けることを目的としています。

東南アジア経済論

東南アジア諸国は経済共同体を設立して、域内で物品貿易を自由化し、多国籍企業は生産基地をはりめぐらして、サプライチェーンを構築しています。また全体では巨大な市場ですが、域内には経済格差があり、言語、宗教、政治体制は多様です。日本とも関係が深い東南アジア経済の特徴について、経済学的に分析して解説します。

STUDENT'S VOICE

経済学の視点で日常生活と世界のつながりを考える。

高校生の時に訪れたベトナムで活気に満ち溢れたまちや人々に触れ、活気を生み出す根源を探りたいと思い、本学科を志望。学びを進める中で、経済の変化や世界が抱える問題をより身近に感じるようになりました。例えば日用品の値段が上がった時には、原材料の高騰や原料を供給する国の状況にまで考えを巡らせます。また、2年次には語学力の向上をめざし、イギリスの短期語学研修に参加。より実践的な英語力と、自分の意見を主張する力が身に付きました。多様な学びで将来の選択肢が広がったと思います。

経済学部国際経済学科 4年(2021年12月時点)

太田 勇紀

(大分県・大分上野丘高等学校出身)

私が思う
国際経済学の面白さ
問題と解決策の
関連性を理解することで
知識をさらなる深みへ

